

# 国際障害者デー

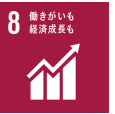
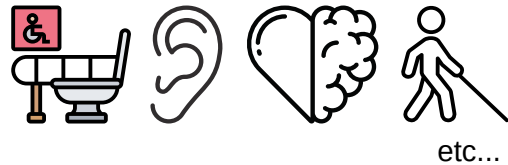
国連では1983～1992年を「国連・障害者の10年」と定め、「障害者に関する世界行動計画」の策定などが進められてきました。この締め括りとして、1992年の国連総会で制定されました。日本ではこの国際デーができる前の1981年に12月9日を「障害者の日」と定めていたため、1995年にこれらを統合し、12月3～9日を「障害者週間」と決めました。

## 障害とは

障害は体（身体障害）・脳（知的障害）・心（精神障害）の3つに大別されます。細かく分類すると、「内部障害」（消化器や免疫に障害がある）、「依存症」、「学習障害」、「発達障害」など、非常にたくさんの種類に分けられます。

WHOの推計や国連の発表によると、

- ・世界の障害者は全人口の約15%または約10億人（世界の7人に1人は障害を有している）
- ・世界の障害者のうちおよそ1億人が子ども
- ・世界の障害者の8割が途上国に住んでいるといわれています。



## 4つの社会的障壁

障害者にとって、日常・社会生活を送る際に障壁（不便・不利など）になるようなもので、

- ・事物（物理的バリア）
  - ・制度的なバリア
  - ・慣行（文化・情報面のバリア）
  - ・観念（意識上のバリア）
- を指します。

ワーク1：身の周りで、4つの社会的障壁に当てはまるものを探してみよう。

ワーク2：その社会的障壁を解消するためにどうすればよいか、何ができるか考えてみよう。

※自分ができるか否かは問いません。

ワークEx：障害者に関するマーク・標識を探し、意味を調べてみよう。

参考・引用：数が多いため、<https://ftcj.org/archives/20145>の末尾をご覧ください。

Together, We Can CHANGE the World はじめてみよう！あなたにできること。



もっと国際デー！

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

FTCJはあなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をおすすめしています。あなただからこそできる国際協力を一緒に探しませんか？全国のメンバーが様々なアクションを起こしています。アクションのヒントはコチラで検索！

FTCJ 活動ヒント 検索